

町立奥出雲病院で職場体験

◆◆ご寄附ありがとうございました◆◆

平成24年「ふるさと納税」による寄附の状況をお知らせします

奥出雲町では「奥出雲町ふるさと応援基金」を創設し、町外の皆様からのご厚意を町の施策に反映させる仕組みを作っています。

また、単年度で1万円以上の寄附者に対して特産品の「ふるさと小包」を贈呈、累計10万円以上の寄附者には「ふるさと応援大使」の委嘱等を行っています。

平成24年1月から12月までの1年間に、この制度を活用して91名の方から総額372万円のご寄附をいただきました。

皆様に感謝申し上げますとともに、その目的を達成するために有効に活用させていただきます。

お名前	ご住所	寄附額
景山 喜巳 様	京都府京都市	10万円
祥星技術(株)様	島根県雲南市	8万円
杠 正吉 様	千葉県市川市	3万円
杠 文実雄 様	兵庫県明石市	5万円
内田 義美 様	東京都八王子市	3万円
矢嶋 友美 様	東京都国立市	1万円
若槻 一夫 様	広島県広島市	100万円
源 大佑 様	大阪府大阪市	50万円
山本 滋隆 様	愛知県名古屋市	1万円
岩田 吉生 様	東京都府中市	5万円
鈴木 聰 様	神奈川県川崎市	1万円
吉川 弘仁 様	島根県松江市	2万円
上田 秀俊 様	神奈川県鎌倉市	1万円

(ご寄附受付順)

**安全安心のまちづくりへ
防犯カメラ2基を寄贈**

奥出雲町建設業協会より防犯カメラ二基を寄贈いただくこととなり、その贈呈式が12月13日に役場仁多庁舎되었습니다。福間久八会長をはじめとする役員の方から「犯罪のない安全・安心な明るい町づくり推進のため活用してほしい」との言葉と共に、目録が井上町長に手渡されました。

今回寄贈された防犯カメラは、JR出雲三成駅前とJR出雲横田駅前にそれぞれ設置され、犯罪防止に役立てられます。



▶ 大会前に決意を述べる千原さん

千原楊平さん（仁多中）島根県選抜チームの上
う都道府県対抗中学バレーう

▲三成駅前（左）と横田駅前（右）



十二月末に大阪市で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ第26回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に、島根県選抜メンバーとして仁多中学校三年生の千原楊平さんが出場されました。

千原さんはセッターとして予選二試合に出場し、エースアタッカーの多彩な攻撃の起点となるプレーでチームに貢献しました。

島根県選抜男子チームは残念ながら予選リーグで敗退となりましたが千原さんの今後の活躍が期待されます



▲看護師から説明を受ける生徒たち



▲ 血圧測定にも挑戦

十二月二十六日、町立奥出雲病院で高校生を対象とした医療見学・体験学習会が行われ、地元横田高校の一、二年生の男女十八人が参加しました。この体験学習は毎年二回実施されており、二回目の今回は冬休みを利用して行されました。生徒たちは病院での注意事項などの説明を受けた後、各々希望の部署に分かれて説明・指導を受けました。

参加した男子生徒の一人は「将来医療の道に進むかはまだ決めてはいないが、今回の体験で得られた経験を生かしてこれから道を決めていきたい」と話しました。

午後からは医療の専門学校や大学に通う横田高校の先輩との交流会も開かれ、高校時代の過ごし方や、学校でのカリキュラム、将来の目標についての話などに皆熱心に耳を傾けていました。

今回の参加が二度目という生徒も多く、この体験を通じて一人でも多くの地域医療を支える人材が育つってくれることが期待されます。

.....



する「奥出雲町ふるさと教育フェスティバル」が十二月九日、横田コミュニティセンターで開催され、地域の方々を含め二百人が参加しました。今年度は「ふるさとを学び、すてきなふるさとを伝えよう」をテーマに高尾小・高田小・八川小・横田中の四つの小中学校のステージ発表・たたらシンポジウム・ふるさとパネル展示などが行われました。

ステージ発表では、古代の奥出雲町のことや奥出雲ブランドについてなど、子どもたち自身が調べ、学んできた身近なふるさとの魅力を堂々とした態度で地域の方へ発信しました。

また、シンポジウムでは、シンポジストとなつた児童生徒四人がたたら体験活動で学んだことや心に残つたこと、また、たたらの学習を通して感じた身近な人たちとのつながりについて、国選定保存技術保持者で日刀保たたら村下の木原明さんと話し合いました。

発表の方法や表現を工夫し、自分の言葉でわかりやすく伝えようとする子どもたちの姿に、来場者は熱心に耳を傾けていました。

全ての発表が終わると、がんばった子どもたちに来場者から大きな拍手が送られました。

町内の小中学生が「ふるさと教育」の成果を発表